

## 国立大学病院長会議講演会で病院 BCP について講演しました (2024/1/17)

テーマ：国立大学病院長会議、業務継続計画 (BCP)・業務継続マネジメント (BCM)  
場所：Web (ホストは東北大学病院)

2024 年 1 月 17 日 (水)、国立大学病院長会議講演会が開催され、佐々木宏之准教授 (災害医療国際協力学分野) が病院の業務継続計画 (BCP)・業務継続マネジメント (BCM) について講演しました。

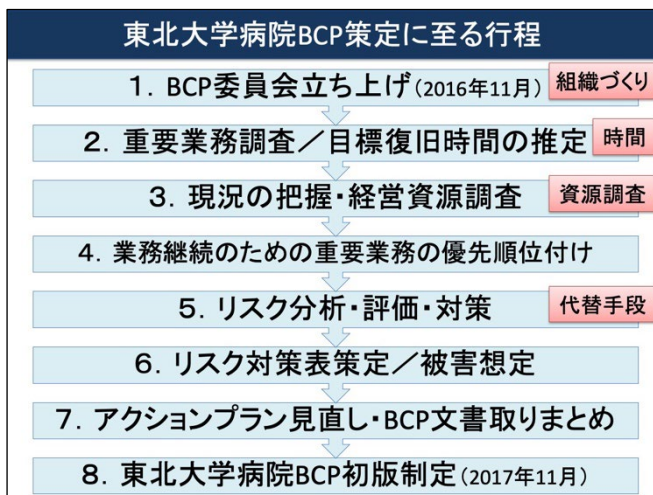
一般社団法人国立大学病院長会議は、国立大学の大学附属病院、医学部附属病院、歯学部附属病院および附置研究所附属病院における診療、教育および研究に係る諸問題等について協議し、我が国における医学・歯学・医療の進歩発展に寄与することを目的として発足した組織です。災害時には国立大学病院間での人的・物的資源の支援枠組も設定されています。

Web 開催の講演には、会員校・準会員校からの病院長・災害対策関係者など約 160 名が参加しました。佐々木准教授は、「災害時の病院機能維持 ～BCP は機能維持のたたき台～」の演題で、①BCP の基礎、②東北大学病院 BCP 策定の取り組み、③BCM の実際、④令和 3 年厚労科研究 (水害への対策、BCP 修正) について約 70 分講演し、書式としての BCP 策定がゴールではないこと、BCM を通して継続的に機能維持に向けた教育・訓練、BCP 更新を繰り返していくことが本質であると強調しました。

令和 6 年能登半島地震が発生した直後の病院機能維持に関する講演会だったため、参加者からは病院機能維持に関するロジの重要性、また昨今頻度・規模を増している水害リスクの捉え方についての質問、意見が相次ぎました。また、東北大学病院ホームページで公開している BCP を参考に自院 BCP を策定している大学病院もあり、参加者から追加資料掲載に関する要望も出されました。



講演会ポスター



東北大学病院 BCP 策定ステップ

文責：佐々木宏之 (災害医療国際協力学分野)